

【借入申込書の記入の仕方】

※借入申込者氏名は「本名」でご記入ください。
 (「通称名」は不可)

緊急小口資金特例貸付借入申込書

【記入例】

社会福祉法人
 愛知県社会福祉協議会 全て該当しなければ、貸付対象とはなりません。

申込みに当たり、下記事項に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。
 ○記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で第三者に提供することに同意します。
 ○貴社会福祉協議会が、貸付けに必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、関係機関等に照会し、私の個人情報の提供を受けることに同意します。
 ○私は現在、生活保護を受給していません。
 ○私は現在、自己破産の手続きを行っていません。
 ○本貸付金を事業の運転資金として使用しません。
 ○私以外の世帯の者は、本特例貸付の対象外です。
 ○私及び私の世帯の者は、暴力団員等による脅迫の被害者ではありません。
 ○私は、貴協議会が必要に応じ官公署から私又は私の世帯員に係る暴力団員等による脅迫の被害者である旨の届出を受けていません。
 ○貸付審査の結果、貸付不承認となった場合、理由は開示されないことに同意します。

下記に該当する世帯員がいる場合は、「特記事項」のいずれかに「○」を付してください。

ア 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき。
 イ 世帯員に要介護者がいるとき。世帯員にうまたはエの子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき。
 ウ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した学校等に通う子。
 エ 風邪症状など新型コロナウイルスに感染したおそれのある、小学校等に通う子。
 オ 世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足するとき。

上記内容に相違ありません 署名 ●● 一郎

記入年月日 令和 ●年 ●月 ●日 付番号 この欄は記入しないでください。

申込金額 200,000円 据置期間 ア 12か月 イ その他()か月 償還期間 ア 24か月 イ その他()か月 償還方法 月賦 一括

借入申込者
 氏名 ○○○○ イチロウ 性別 男 女 生年月日 大正 昭和 ●●年 3月 25日 (満 40歳)
 現住所 (〒 ●●●● - ●●●●) 愛知県○○市◆◆区
 勤務先名称または職業 飲食店経営 勤務先住所 ○○市◆◆区■■●-●-● 電話 ●● (●●●●)●●●●

借入申込者の世帯状況	氏名	関係	年齢	生年月日	勤務先・学校名	特記事項(感染罹患者、要介護者、学校休校等)
1	●● 一郎	夫・妻・子・父・母・その他	40	T・S・H・R ●●年●●月●●日	●●薬局	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
2	●● 桃子	夫・妻・子・父・母・その他	40	T・S・H・R ●●年●●月●●日	●●薬局	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
3	●● ころこ	夫・妻・子・父・母・その他	11	T・S・H・R ●●年●●月●●日	★★小学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
4	その他 名	夫・妻・子・父・母・その他		T・S・H・R 年 月 日		

口座振込の場合 金融機関 ●●銀行 支店名 ●●支店 預金種別 普通 当座
 貸付金振込先 口座番号 1234567 口座名義人(カタカナ) ○○○○ イチロウ

借入理由 ※感染拡大等による影響の内容を記入 新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減 今後10万円を超える資金需要があるため

本特例貸付の利用実績; ア.今回が初めての借入 イ.すでに借入したことがある(受付日: / 借用金額 万円)

外国籍の方で在留期間が1年以内の方; 在留期間が延長の予定

本特例貸付を初めて借りる場合は「ア」に、上限額以内で一度借りており、残りの額を改めて借りる場合は「イ」に☑をご記入ください。

在留期間が1年以内の方で、在留期間延長の予定がある場合は、ここに☑をご記入ください。

特記事項のアからオのいずれにも該当しないものの、100,000円を超える貸付を希望する場合は、ここに☑をご記入ください。